

鹿児島県の魅力を 首都圏で情報発信!!

飯倉公館にて 各国駐日大使等に 鹿児島の食や 文化を紹介!

外務省の迎賓施設である「飯倉公館」において、各国駐日大使等を招待して本県の食、観光、文化等を発信する「鹿児島県PRレセプション」(平成31年1月30日)が外務省と鹿児島県の共催で開催されました。

約250名の駐日大使、海外商工会議所、企業関係者等が来場され、河野外務大臣と三反園訓知事が鹿児島県の魅力を紹介され、鹿児島県黒牛やカンパチ、本格焼酎、かごしま茶などを味わっていただきました。

また、伝統的工芸品(薩摩焼・本場大島紬・川辺仏壇)の

展示や大島紬の着付体験、観光情報等の紹介も行い、鹿児島県の魅力を来場者に大いに発信し交流いたしました。



平成30年度 「かごしま食の 大交流会 in TOKYO」開催

首都圏において、本県が誇る農林水産物や特産品(食)及び観光情報などを紹介し、鹿児島に対する理解を

深めていただくとともに、鹿児島が生み出す一流品に関する情報を効果的に発信することを目的に「かごしまの食の大交流会 in TOKYO」(主催―鹿児島県の夕べ実行委員会(構成―鹿児島県、鹿児島県特産品協会ほか))を平成31年1月31日に開催いたしました。

第一部「食の大商談会」では、流通関係者16社(首都圏の百貨店、量販店等)と県内の生産者39社・団体が参加され、真剣で熱心な商談会が開催されました。

効果的な商談会にするため、今回は、ギフト商品、ウエルネス商品に特化し、事前にバイヤーから商談先を選定いただく事前マッチング「逆見本市形式」にて実施いたしました。

商談した出展者からは、「短時間でも内容が濃い商談ができた。指摘された点はすぐに改善します」「以前からずっと探していた商材に出会えたと言われ、他の商材も含

めて提案することになりました」など成果報告があり、また、「初めて商談会に参加し、今後の販路拡大の方法や価格設定、パッケージ(デザイン)など教わる事がたくさんありました」とバイヤー目線からの的確なアドバイスを受けた出展者もおられました。バイヤーからは、商談成立した商品や取引を希望する商品が多数あり、「顧客層に合わせたオリジナルブランドを希望」「期待できるプレミアム商材なので、担当バイヤーに紹介する」など非常に前向きなご意見、ご感想をいただきました。

一方、「流通について知識を増やしていただきたい」「今後は、HACCP導入が必要。気がかりだ」「商品やパッケージデザインにこだわりがほしい」など厳しい指摘もいただき、首都圏へ売り出していく難しさを痛感しました。

今回の商談会は単に出展者がバイヤーへ商品売り込むだけでなく、今後の商品の

改善、安全・安心な商品開発につながることも有意義な商談会になったのではないかと思います。

第2部の「鹿児島県の夕べ」には薩摩大使や首都圏の流通関係者や報道機関等、900名を超える方々が来場されました。本県自慢の食材を使った料理や本格焼酎などを提供、伝統的工芸品の展示など鹿児島県の魅力を大いに発信しました。

また、第2部の前には俳優の高嶋政宏氏の薩摩大使委嘱式が行われ、対談の中で三反園県知事からは「出演番組や雑誌、イベントなどぜひどん鹿児島島をPRしてください」との期待の言葉がかけられました。

